

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名	認知症対応型共同生活介護 グループホーム やまと			
開催日	令和 2年 9月 15日 (火) 14:00~15:00			
開催場所	グループホームやまと 地域交流室			
出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	ご利用者の代表	0名	地域包括支援センター	1名
	ご利用者の家族	0名	地域住民の代表	1名
	認知症の人と家族の会	1名		
事業所	グループホーム	1名		
出席者	事務局	2名		
欠席者	ご利用者代表 ご利用者家族			

《 グループホーム 状況報告 》 (令和 2年 7月 11日~令和 2年 9月 10日)

基本目標	住み慣れた地域の中で、できることを共に喜びあい、愛あふれるグループホーム						
利用者の状況	入居者	18名 (定員: 18名)					
	年齢	67~100歳 (平均年齢: 87.3歳)					
	介護度別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
		2名	4名	9名	3名	0名	2.7
入退居の状況	新規利用者	1名					
	退居者	1名					

《 主なご意見 》

- 現在、感染症対策などで活動の制限があるが、手洗いの回数が増えた、手洗いが癖になった等、ポジティブに捉える事も大切。
- 看取りの取り組みより、最期をどう迎えたいか認知症ケアを含めて他人事になっているが、自分事として考えていく事が大切。死をタブー視しないで日頃からしをどう考えているか若人も考えていかないといけないと感じている。
- 「人生の最終段階を考える会」で最期をどう迎えたいか 1/3M 勉強会をしている (情報として)
- 自分の中で死に備える研修 (押し花ゲーム) などもしている。
- ちょうど梅雨が明けた頃、民生委員として訪問した高齢者宅で 89 歳の女性が嘔吐している場面に出くわした。娘さんがおられたが、どうしてよいか分からず悩んでいた。すぐに SOS を呼ぶことを伝えた。この経験により、緊急時に落ち着いて対応できる心掛けが必要と感じた。